



介護からエンゼルケアまで  
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～  
株式会社 ケアサービス

# 2023年3月期第1四半期 決算説明資料

2022年8月5日

株式会社ケアサービス  
(東証スタンダード 2425)

## 【売上高】

### ■ 在宅介護事業

デイサービスにおいて、新型コロナウイルス感染症（第6波、第7波）の影響を受け、継続的に利用休止や利用控えが発生。

### ■ シニア向け総合サービス事業

エンゼルケアは品質向上に努め、ニーズの高まりにより施行件数が増加。

## 【営業利益】

### ■ 在宅介護事業

デイサービスの売上減少と、デイサービスと訪問入浴事業所計2事業所の新規出店に関する費用が増加し減益。（10頁参照）

### ■ シニア向け総合サービス事業

国内サービスは好調に推移し増収。しかし、中国事業で上海都市封鎖により、4月～6月中旬まで事業が停止し減益。

# 2023年3月期 第1四半期 決算概要

- 売上高： 対前年同四半期比 2.3%増収
- 営業利益： 同 37.5%減益
- 経常利益： 同 43.2%減益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益： 同 30.3%増益

(百万円)	2022年3月期1Q(連結)		2023年3月期1Q(連結)		対前年同四半期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>2,207</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,257</b>	<b>100.0%</b>	<b>50</b>	<b>2.3%</b>
売上総利益	264	12.0%	245	10.9%	△ 18	-7.1%
販売費及び一般管理費	205	9.3%	208	9.2%	3	1.6%
<b>営業利益</b>	<b>58</b>	<b>2.7%</b>	<b>36</b>	<b>1.6%</b>	<b>△ 22</b>	<b>-37.5%</b>
<b>経常利益</b>	<b>65</b>	<b>3.0%</b>	<b>37</b>	<b>1.6%</b>	<b>△ 28</b>	<b>-43.2%</b>
特別利益 *	0	0.0%	61	2.7%	61	—
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	—
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>40</b>	<b>1.9%</b>	<b>53</b>	<b>2.4%</b>	<b>12</b>	<b>30.3%</b>

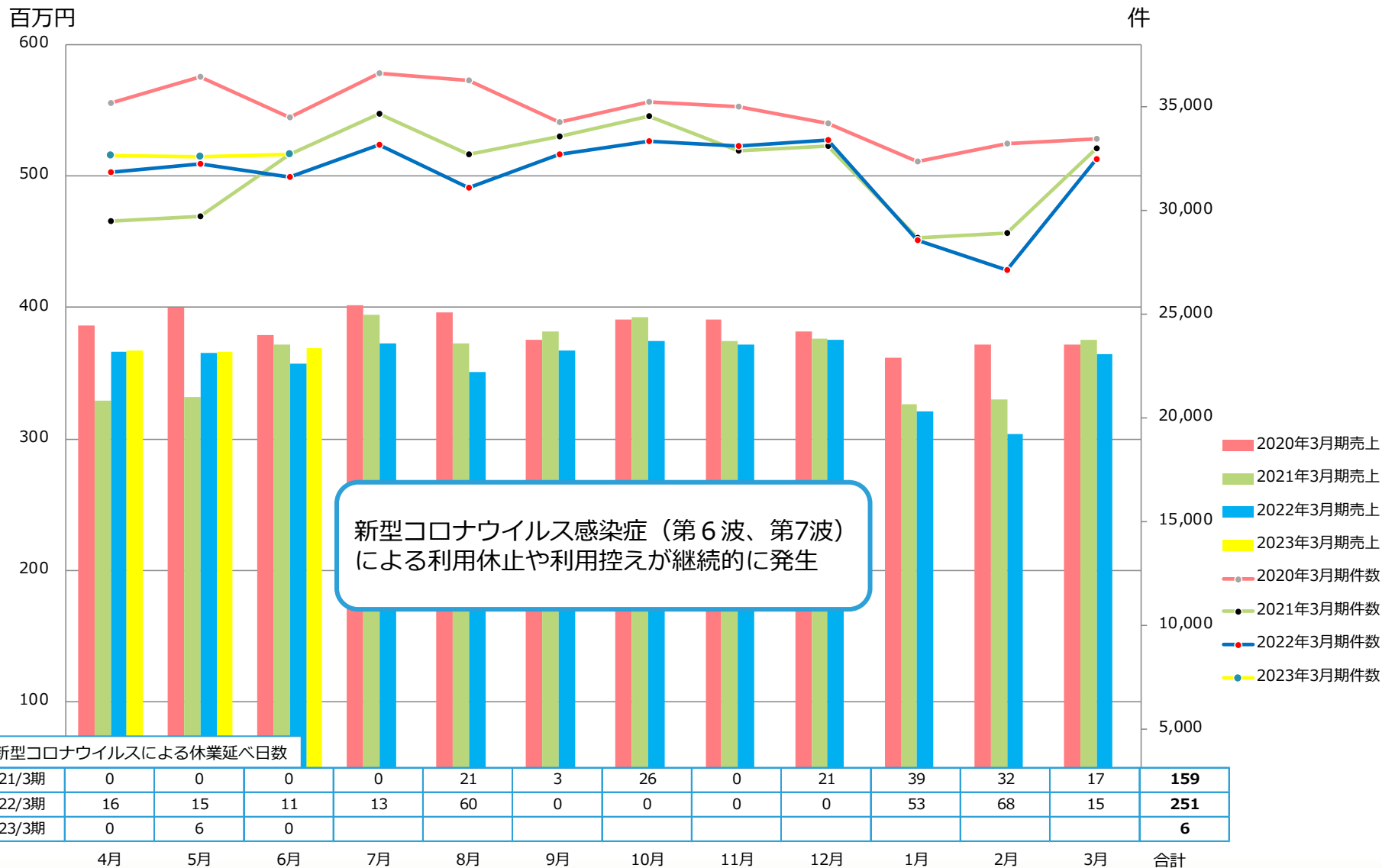
\*事業所閉鎖による

# 2023年3月期 第1四半期 事業別業績概要

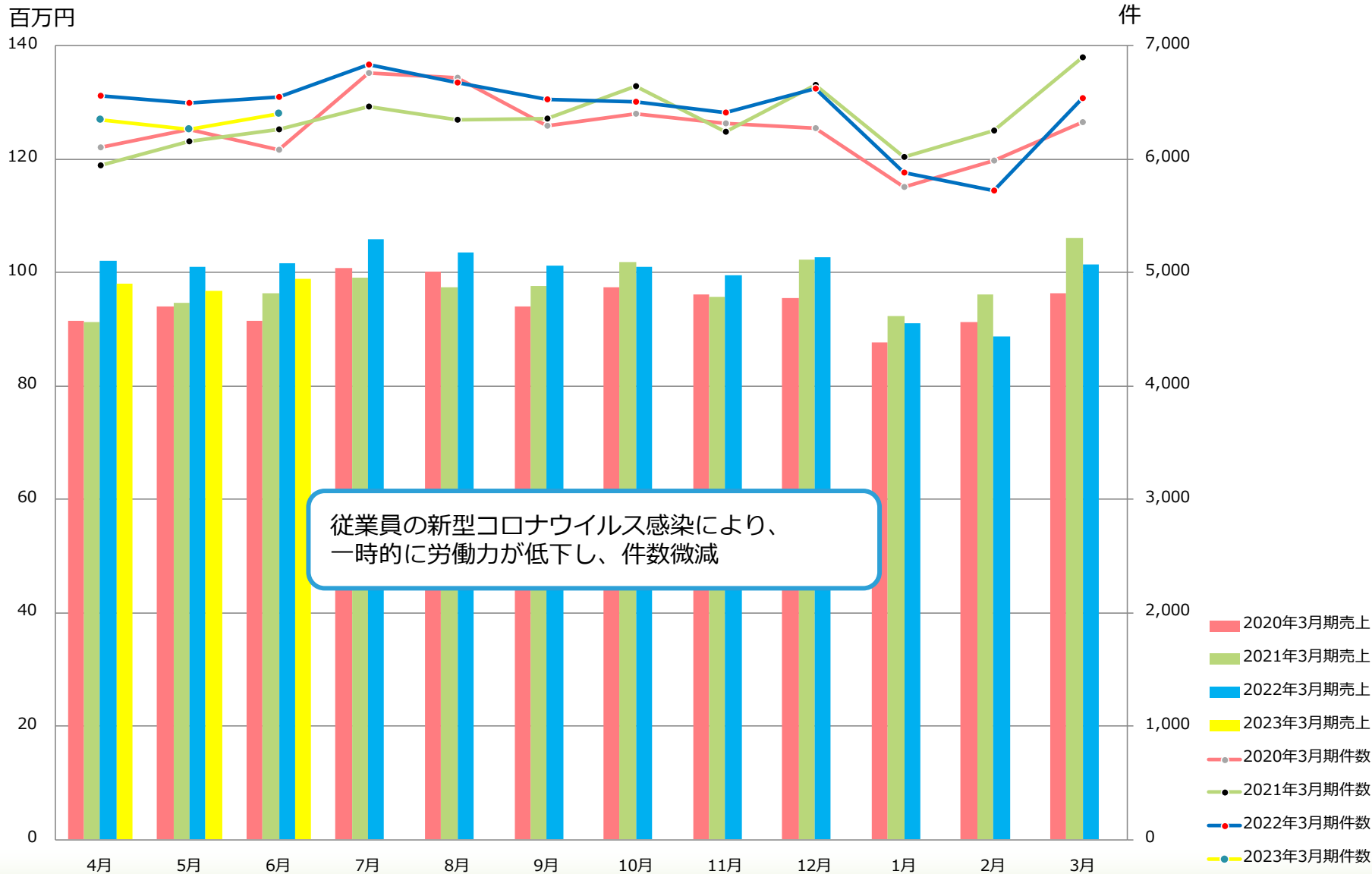
- 在宅介護サービス : 対前年同四半期比 1.7%増収 10.6%減益
- シニア向け総合サービス : 同 4.0%増収 5.3%減益

(百万円)	2022年3月期1Q(連結)		2023年3月期1Q(連結)		対前年同四半期比	
	実績	対売上高 比率	実績	対売上高 比率	増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>2,207</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,257</b>	<b>100.0%</b>	<b>50</b>	<b>2.3%</b>
在宅介護サービス	1,652	74.9%	1,680	74.5%	27	1.7%
シニア向け総合サービス	554	25.1%	576	25.5%	22	4.0%
<b>セグメント利益</b>	<b>240</b>	<b>10.9%</b>	<b>220</b>	<b>9.8%</b>	<b>△ 20</b>	<b>-8.4%</b>
在宅介護サービス	142	8.6%	127	7.6%	△ 15	-10.6%
シニア向け総合サービス	98	17.7%	93	16.1%	△ 5	-5.3%
<b>調整額</b>	<b>△ 181</b>	<b>-8.2%</b>	<b>△ 183</b>	<b>-8.1%</b>	<b>△ 1</b>	<b>—</b>
<b>営業利益</b>	<b>58</b>	<b>2.7%</b>	<b>36</b>	<b>1.6%</b>	<b>△ 22</b>	<b>-37.5%</b>

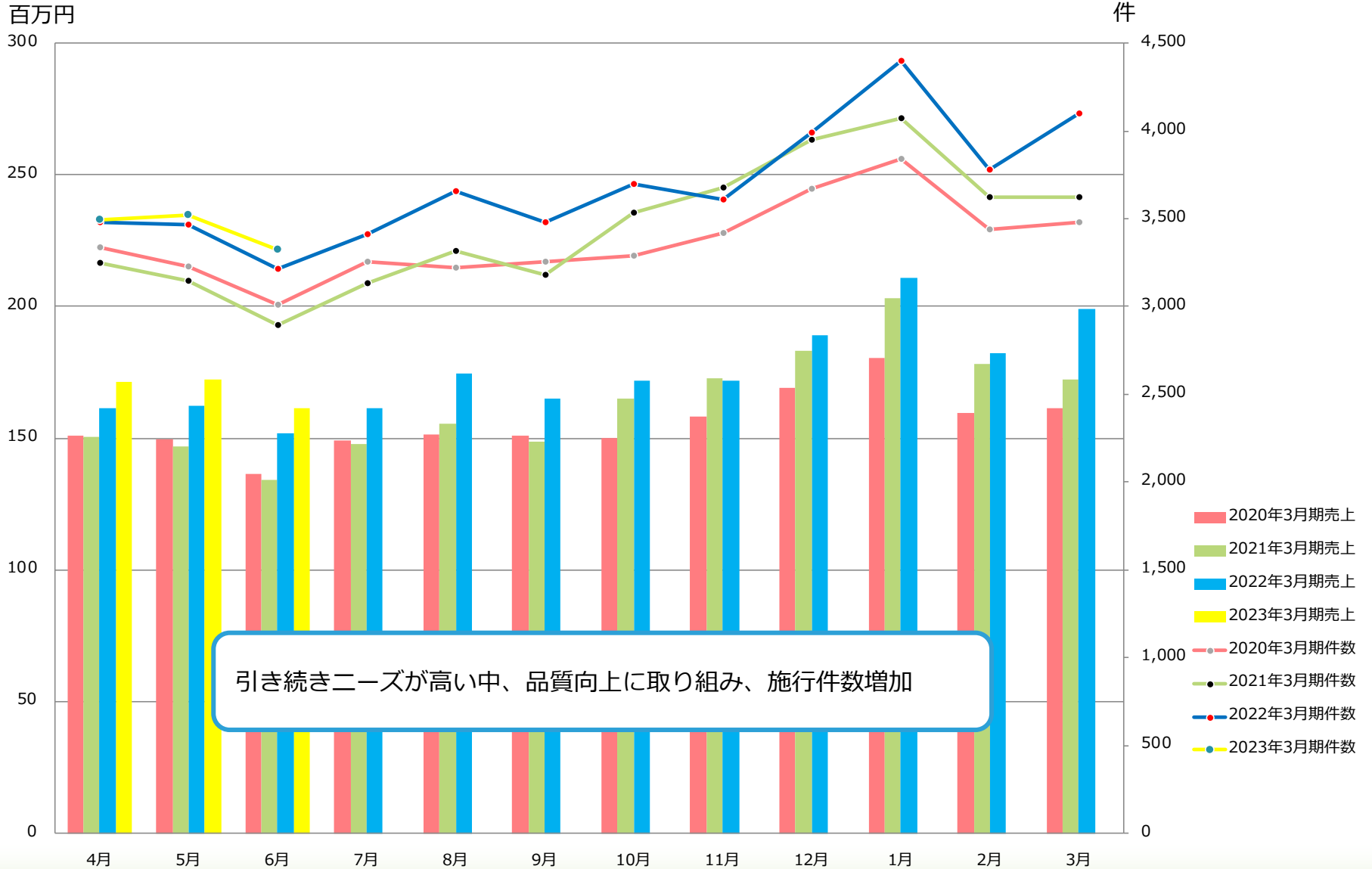
# デイサービス（通所介護サービス）：売上高、件数の推移



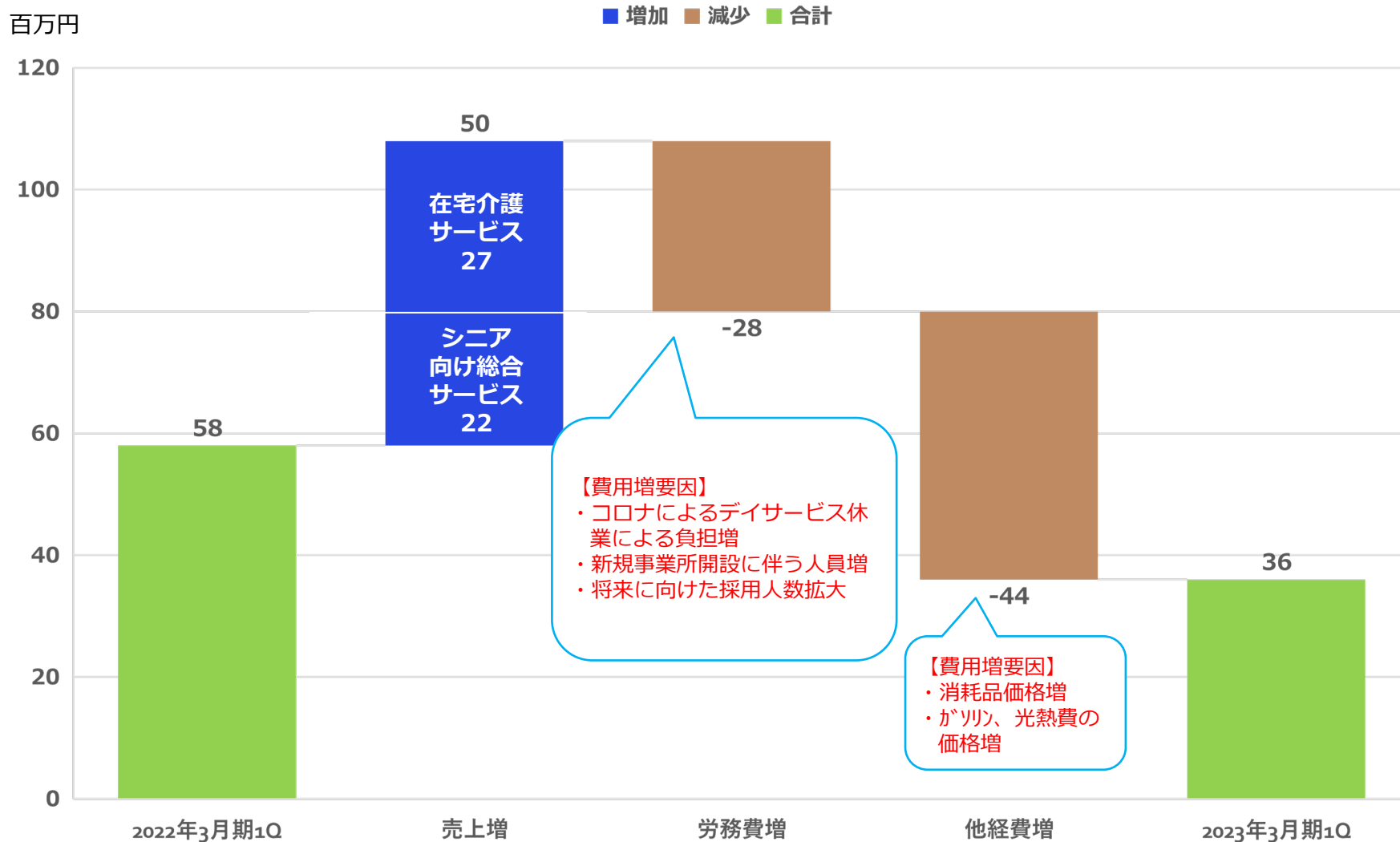
# 訪問入浴サービス：売上高、件数の推移



# エンゼルケアサービス：売上高、件数の推移



# 営業利益の増減分析





## 中長期の成長の為に、人への投資を拡大

### 【人材採用拡大】

- ・ 幹部候補生育成の為に新卒採用活動の強化、採用人数の増加を計画
- ・ 採用エリアを全国に拡大、採用方法を多方面に展開
- ・ 採用機能の増員と体制強化

### 【人材育成】

- ・ 介護サービス、エンゼルケアなど各サービス別に教育担当インストラクターを設置、実務に即した教育研修体制を拡充

## ■ 事業所開設状況

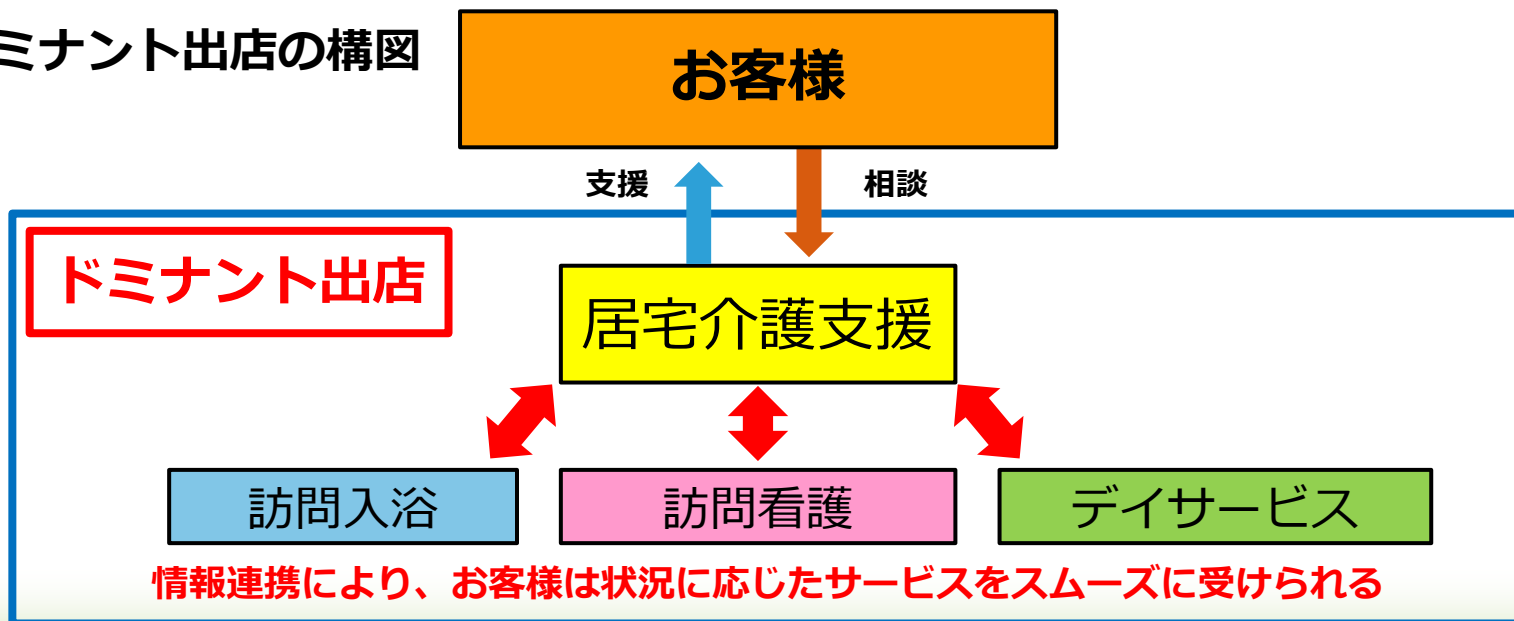
2022年4月

- ・ デイサービスセンター亀戸（東京都江東区）
- ・ 訪問入浴亀戸（東京都江東区）

## ■ 出店の特長

居宅介護支援事業所を中心としたドミナント出店を行うことで、デイサービス、訪問入浴、訪問看護（既存店）の各介護サービスが相互に連携し、地域のシェア拡大を早期に図る。

### ・ ドミナント出店の構図



	1～2年	3～5年	6～10年
社会	Withコロナ継続 経済厳しい	2025年問題 高齢者>若者 明確に	インバウンド中心の経済 外国人労働者、移民の増加
業界	消耗戦 将来を見据え、人材確保が鍵	介護報酬の単価変動 競争激化、人材確保ピーク	高齢者が団塊の世代中心 アジアの介護ニーズが本格化
当社	<p><b>稼ぐ力をつける</b></p> <p><b>組織力・事業の再構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 既存事業の強化と再点検</li> <li>■ 採用・教育・定着</li> <li>■ 若手の底上げ・抜擢</li> <li>■ 事業所と本社の連携、事業部間の相乗効果</li> <li>■ 本社スリム化と育成 マルチタスク人材 プレイングマネジャー</li> </ul>	<p><b>大きく投資する</b></p> <p><b>業界ポジションの確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ビジネスモデル確立</li> <li>■ M&amp;A、業務提携</li> <li>■ 海外展開再開</li> <li>■ 既存事業の積極的拡大と再定義 (スクラップ&amp;ビルド)</li> <li>■ 新規事業の模索 既存事業の顧客基盤 課題を活かす</li> </ul>	<p><b>シニア向け 総合サービス業への進化</b></p> <p><b>ビジネスモデルの発展拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 介護保険外事業への展開</li> <li>■ 看護、医療、調剤との連携、融合</li> <li>■ 葬祭周辺業務多角化</li> <li>■ 海外事業比率増 (中国・アジア圏)</li> </ul>

セグメント区分	所属サービス	子会社
<p><b>在宅介護サービス事業</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デイサービス</li> <li>・ 訪問入浴</li> <li>・ 訪問介護</li> <li>・ 訪問看護</li> <li>・ 小規模多機能型居宅介護</li> <li>・ 居宅介護支援</li> <li>・ 福祉用具貸与・販売</li> <li>・ 配食サービス</li> </ul>	
<p><b>シニア向け 総合サービス事業</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エンゼルケア</li> <li>・ クリーンサービス</li> <li>・ シニア向け施設紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒューマンキャピタル</li> <li>・ 上海福原</li> </ul>

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

株式会社ケアサービス  
MAIL:ir.info@care.co.jp  
TEL 03-5753-1170